

## 9 教育費

### 1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P. 343

2001 スクールバス運行に要する経費 16,389,405 円 (12,310,380 円)

[国・県 724,500 円 一財 15,664,905 円]

\* 特財内訳

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 350,000 円]

[県補：市立小学校適正規模化支援事業費補助金 374,500 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童・生徒の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

- ・小文間地区スクールバス運行業務委託 7,128,000 円
- ・小堀地区スクールバス運行業務委託 7,102,080 円
- ・市之代・貝塚地区スクールバス運行業務委託 2,159,325 円

○ 効果

・対象児童・生徒に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P. 343

2201 通学送迎に要する経費 1,699,272 円 (646,272 円)

[一財 1,699,272 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

- ・桜が丘小学校スクールタクシー業務委託（大留地区） 646,272 円
- ・永山小学校スクールタクシー業務委託（市之代・貝塚地区） 1,053,000 円

※市之代・貝塚地区については、児童数減少により9月以降、車両をマイクロバスからワンボックスタイプに変更して通学送迎を実施した。

○ 効果

・対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P. 343

2301 教育情報機器整備に要する経費 90,513,281 円 (78,054,291 円)

[一財 90,513,281 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うため、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築したことで、事務の効率化と個人情報の保護を図った。

主な事業費内訳

・教育センターシステムクラウド使用料	13,535,640円
・教職員用パソコン使用料	19,530,000円
・ICT活用教育支援スタッフ業務委託料	9,180,000円
・校務支援システム使用料	8,316,000円
・光回線導入／維持費用	2,203,090円
	(工事請負費 796,068円)
	(通信運搬費 1,407,022円)

○ 効果

教育センターシステムのクラウド化を行い、セキュリティの強化、運用性・保守性の最適化が図られた。また、新たに教育系専用のインターネット回線を敷設したことにより、大容量データ通信にも対応した教育活動が可能になるなどの効果が見られた。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P.345

2101 奨学生貸付金 3,240,000円 (3,480,000円)

[その他 3,240,000円]

\* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 3,240,000円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大学：月額 30,000円、私立大学：月額 40,000円

貸付者数

種別	28年度 (内 新規貸付)	27年度 (内 新規貸付)	26年度 (内 新規貸付)
国公立大学	3名(0)	3名(2)	1名(1)
私立大学	5名(1)	5名(2)	5名(2)
合計	8名(1)	8名(4)	6名(3)

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P.347

0501 教育振興に要する経費 51,141,677円 (66,115,457円)

[国・県 1,231,200円 一財 49,910,477円]

\* 特財内訳

[県補：原子力エネルギー教育支援事業補助金 1,231,200円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。

そこで、英語指導助手(ALT)との連携による授業、学習ボランティアや心の先生を活用しての授業などの実践を行う。

○ 内容

- ・社会科副読本「わたしたちの茨城県」購入(小学4年生) 542,080円
- ・社会科地図「わたしたちの取手市地図」印刷(小学3年生) 301,320円
- ・社会科地図「取手市全図」印刷(中学1年生) 226,800円
- ・社会科副読本「とりで」印刷製本 1,458,000円
- ・英語指導助手業務委託料 45,144,000円

英語指導助手(ALT)11人(中学校各校1人・小学校3校に1人配置)を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実に努めた。

- ・学習ボランティア謝礼 195,000円
- ・「心の授業」「心の先生」講師謝礼 211,000円
- ・学校問題解決サポートチーム員謝礼 18,900円
- ・市立中学校生徒自殺事案調査委員会委員謝礼 757,000円

平成27年11月の生徒の自殺原因を調査するため、平成28年7月に調査委員会を立ち上げ、6名の委員により臨時を含め7回の調査委員会と、5回の調査を実施した。

- ・理科教育用教材購入 1,231,200円
- ・その他(需用費・負担金等) 1,056,377円

○ 効果

学習指導要領に沿って、各教科等のねらいを達成する授業を展開するため、外部講師の効果的な活用を図った。また、県補助金を活用した理科教育用教材の購入や、社会科副読本の作成により教材等の充実が図られ、児童生徒の学習意欲を高めることができた。また、ALTの活用により、小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び国際教育の充実が図られた。

**[担当：指導課] P. 349**

**1001 特別支援教育に要する経費 2,818,825円 (2,935,490円)**

[一財 2,818,825円]

○ 目的

障害のある幼児児童生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市内小中学校の特別支援教育の充実に努める。

○ 内容

(1)特別支援教育相談員等の配置

幼児児童生徒の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行なった。

- ・相談件数

区 分	H28年度(178件)	H27年度(179件)
未就学児に関して	82件	83件
在学児童生徒に関して	85件	81件
教職員から	11件	15件

(2) 教育支援委員会の実施

障害のある幼児児童生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する委員会において就学についての協議・判定を実施した。

・判定人数

区 分	H28 年度(137 人)	H27 年度(148 人)
新学齢児	53 人	51 人
在学児童生徒	84 人	97 人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における特別支援教育校内体制の整備と活用に関する支援を行なった。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」を実施したり、相談記録ファイルや移行連絡シートなどを見直し、切れ目のない支援が行われるようにした。

・「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	H28 年度(22 件)	H27 年度(5 件)
保 護 者	18 件	5 件
教 職 員	4 件	0 件

・講演会への参加者

区 分	H28 年度	H27 年度
特別支援教育講演会	102 人	262 人

○ 効果

障害のある幼児等の課題について早期に発見できたことにより、幼稚園・保育所と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

市内小中学校における特別支援教育校内体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 349

2301 適応指導事業に要する経費 24,724,358 円 (31,875,365 円)

[一財 24,724,358 円]

○ 目的

学校に関する悩みをかかえた児童生徒等に対応するために学校や関係機関との連携のもと、適切な援助指導を行う。不登校等の対応には、その状況に応じた援助指導が必要であり、適応指導教室を開設することにより、学習面、人間関係の面での指導及び支援を継続的に行う。

○ 内容

相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導、集団での活動支援、個別の相談業務や対応会議等を行った。これらを通して、児童生徒が自立しコミュニケーション力をつけ、学校生活に適応できるよう継続的に支援した。併せて、保護者との面談も行い、家庭と連携し、協力体制の強化を図った。

・指導主事派遣負担金等	9,894,979 円
・教育相談員報酬(7 人分)	8,568,000 円
・子どもと親の相談員謝礼(12 人分)	3,597,000 円
・教育相談センター及び適応指導教室案内カード作成	50,000 円
・教育相談センター維持管理経費等	2,614,379 円

○ 効果

教育相談センターにおける相談業務について、指導主事が専門的助言を行うことにより相談業務の充実が図られた。また、教育相談センターの不登校児童生徒のための適応指導教室「ひまわり」では、教育相談員がきめ細かな指導及び支援を行い、平成28年度は小中学生計13人の通室者のうち、8人が学校生活に復帰することができた。また、学校への復帰ができなかった児童生徒も、適応指導教室に通室しながら学校に通えることもあり、コミュニケーション力を育成することができた。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
H28	13 人	8 人	61.5%
H27	12 人	10 人	83.3%

子どもと親の相談員を全小中学校に配置し、児童生徒及び保護者のための相談活動を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 351

3901 移動学習バス委託事業に要する経費 3,039,120 円 (3,094,200 円)

[一財 3,039,120 円]

○ 目的

児童生徒が校外で直接見聞する体験学習を充実させるため、移動に必要なバスを運行して、校外での学習活動を支援する。

○ 内容

民間のバス会社に委託し、主に小学校3・4年生での校外学習に活用した。中学校では職場体験学習やボランティア活動のほか、取手一中の水泳学習において旧取手一中のプールへの生徒の移動に活用した。

行き先 小学校:常総環境センター、利根川浄水場、市内スーパー・工場等

中学校:市内各事業所、福祉施設、旧取手一中プール

年度	区分	利用校数	利用回数	児童生徒数	バス台数
H28	小学校	14 校	29 回	1,642 人	41 台
	中学校	1 校	3 回	135 人	3 台
	取手一中水泳	1 校	15 回	1,280 人	15 台
H27	小学校	15 校	30 回	1,672 人	43 台
	中学校	1 校	3 回	146 人	3 台
	取手一中水泳	1 校	13 回	1,026 人	13 台

○ 効果

学習内容に関連する公共施設や工場等を直接訪れることにより、児童生徒の学習への関心・意欲を高めることができ、校外での学習の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 351

4201 日本語指導員に要する経費 2,442,008 円 (1,745,433 円)

[一財 2,442,008 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

○ 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

○ 効果

日本の学校生活への適応が図られた。

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
H28	9人	英語3人 中国語2人 ポルトガル語2人 スペイン語2人
H27	7人	英語3人 中国語1人 ポルトガル語2人 スペイン語1人

[担当：指導課] P. 351

4501 学力向上推進事業に要する経費 3,686,627円 (3,634,131円)

[国・県 1,023,400円 一財 2,663,227円]

\* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 1,023,400円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、確かな学力を育成する。また、指導体制や指導方法等の研修を深め、教員の資質向上を図る。

○ 内容

6月22日 授業力向上研修会講師謝礼 30,000円

7月 夏休み算数スクール講師謝礼 473,000円

(市立全小学校6学年に学習支援員を各校1人ずつ5日間配置)

学びの広場サポートプラン講師謝礼(算数) 786,000円

(市立全小学校4・5年に学習支援員を各学級1人ずつ5日間配置)

学びの広場サポートプラン講師謝礼(数学) 183,000円

(希望した市立中学校3校の1・2年に学習支援員を各学級1人ずつ配置)

1～2月 理科特別授業講師謝礼等(小学校12回分) 150,328円

学力向上に関する特色ある取組経費 各小中学校消耗品費 1,998,117円

研修用図書等消耗品費 66,182円

○ 効果

研修会を通して教職員の資質向上を図った。研修内容が即授業実践につながるなど、実効性の高い研修となり、事業の成果向上が見られた。

さらに、小学校4年生以上を対象に長期休業期間中、特に算数における基礎学力の定着を図ることで、児童の学ぶ意欲の向上を図り確かな学力を育成することができた。中学校では平成27年度から始まり、中学1・2年生を対象に、長期休業中や朝自習、定期テスト前の放課後等に実施した。一人ひとりのペースに合わせて数学の基礎問題に取り組むことを通して、基礎学力の定着を図ることができた。サポーターの活用については、昨年度の1校から3校に増え、個に応じたきめ細かい支援を行うことができた。

また、理科では小学校に理科特別授業講師を派遣し、理科への興味関心を高めるとともに小学校理科教育の一層の活性化と充実を図ることができた。

[担当：指導課] P. 351

4801 小中連携教育推進事業に要する経費 1,205,748円(1,001,052円)

[一財 1,205,748円]

○ 目的

中学校生活への適応や学力の向上などをねらった小中連携教育の取組をモデル学区の研究成果を踏まえて、市内の全中学校区において推進する。

○ 内容

小中連携教育を推進するための視点を明らかにし、それを踏まえた具体的施策を各中学校区において実践した。

※小中連携教育推進のための視点

- ① 教科担任制など、中学校生活への適応
- ② 小中教師それぞれの特長を生かした教師間交流
- ③ 児童生徒間の交流
- ④ 生徒指導の一貫性や学校生活への適応
- ⑤ 教育課程の連続性や教育内容の一貫性
- ⑥ 学力向上

事業の取組を充実させるため、9年間を貫くキャリア教育を支援する地域人材の活用や、児童生徒の交流活動に係る移動用バスの運行などの環境整備を行なった。

・講師謝礼	430,000円
・児童生徒の交流活動移動用バス代・楽器運搬費	598,693円
・小中連携教育推進事業パンフレット印刷	147,744円
・消耗品費	29,311円

○ 効果

中学校生活への適応や小中における一貫性のある生徒指導などについて、全中学校区で実践が深まった。小中間の連携が図られ、併せて、小中学校の教師間交流による研修を充実させることができた。また、バスや楽器運送用トラックを活用して児童生徒の交流活動を充実させた。小中学校が、連携した同一時間帯の避難訓練、小中合同挨拶運動、小中学生が互いの学校を訪問するなどの交流が充実した。また、平成25～28年度で実施してきた取組のまとめとしてパンフレットを作成し、次年度以降の取組に活用することとした。

さらに、地域人材を活用したキャリア教育についての講演を各校で行い、児童生徒に将来への視野を広げさせることができた。

[担当：指導課] P. 351

5001 公共プールを活用した中学校水泳学習推進事業に要する経費

1,935,921円(1,946,611円)

[一財 1,935,921円]

○ 目的

中学校の水泳学習を公共のプールを活用することにより、夏季以外でも水泳学習を行うことで、計画的・効率的に学習を進め、水泳学習の質の向上を図る。

○ 内容

取手グリーンスポーツセンターのプールにおいて、水泳学習を行う。生徒の移動は

安全面を配慮し借上げバスを利用した。

- ・水泳学習業務委託(指導員謝礼・施設管理費等) 1,059,501 円  
永山中 1・2 学年各 3 回 藤代中 1・2 学年各 2 回 計 10 回実施
- ・生徒移動用バス借上料 876,420 円

○ 効果

平成 25 年度から実施している永山中学校に加え、今年度から藤代中学校においても公共プールを活用した水泳学習を実施した。屋内プールの利点を生かし、天候に左右されず、年間を見通して計画的・効率的に授業を実施することができた。

生徒の泳力に応じたコース(3 コース)を設定し、個に応じた指導ができ、泳力が向上した。また、指導員がそれぞれのコースに配置されたことによりきめ細かな指導と安全確保ができた。

## 1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 353

1001 青少年健全育成に要する経費 10,619,489 円 (10,539,859 円)

[国・県 46,890 円 その他 5,424 円 一財 10,567,175 円]

\* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 46,890 円]

[諸収入：特別青少年相談員雇用保険料本人負担分 5,424 円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

- ・報酬 青少年相談員報酬 6,204,000 円(月額 9,400 円×55 人×12 か月)  
特別青少年相談員報酬 2,712,000 円(月額 113,000 円×2 人×12 か月)
- ・負担金、補助及び交付金 4 団体 1,100,600 円

○ 効果

青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

## 2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 355

2001 小学校管理に要する経費 225,108,831 円 (230,880,553 円)

[その他 9,873,603 円 一財 215,235,228 円]

\* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 8,700,000 円]

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,050,000 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 2,016 円]



[諸収入：雇用保険料本人負担分 92,350 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 29,237 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・TT(ティームティーチング)特別配置事業により、県からの少人数指導加配がっていない小学校5校(永山小、取手西小、戸頭小、高井小、山王小)にTT非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個々に応じたきめ細かな指導を行った。(5,000,705 円)
- ・教育補助員を14校に配置し、障害のある児童の生活支援を行なった。(68,360,800 円)

○ 効果

TT非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図られた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P.357

2101 小学校施設管理に要する経費 51,843,848円 (48,491,094円)

[一財 51,843,848円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

主な経費

- |      |            |             |
|------|------------|-------------|
| ・修繕料 | 各小学校の施設修繕料 | 12,474,310円 |
| ・委託料 | 各小学校の委託料   | 35,764,279円 |
- 設備保守点検(機械警備、浄化槽、消防設備、電気設備、エレベーター等の保守点検委託等)  
樹木維持管理(草刈清掃、樹木消毒、剪定処分委託等)

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P.359

2201 小学校保健衛生に要する経費 27,289,139 円 (27,973,512 円)

[その他 2,038,720 円 一財 25,250,419 円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 円×4,432 人=2,038,720 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(25名)、歯科医(22名)、薬剤師(14名)、産業医(14名)の報酬
- ・児童、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会

## 小学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	4年	1年	精密検査対象者	4年
H28	4,864人	637人	897人	12人	637人
H27	4,913人	621人	906人	2人	621人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

※平成28年度から蟻虫検査は実施なし。

## 職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
H28	44人	43人	44人	10人	45人	43人	44人
H27	28人	28人	28人	8人	29人	28人	28人

・学校環境衛生検査の実施（学校プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査）

### ○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

## 2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P.361

2001 小学校教育振興に要する経費 11,495,157円（11,678,924円）

[一財 11,495,157円]

### ○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

### ○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(14校)10,411,137円

### ○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P.361

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 23,160,817円（27,233,098円）

[国・県 699,000円 一財 22,461,817円]

\* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 699,000円]

### ○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

### ○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図 書	特別支援 学級教材	合 計
H28	11,005,720	2,490,226	7,524,872	461,087	21,481,905
H27	13,523,641	2,280,044	9,179,649	850,849	25,834,183

### ○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備すること

で、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 363

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 46,300,349 円 (39,652,944 円)

[一財 46,300,349 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うための情報機器を整備し、インターネットを利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

パソコン使用料 42,494,760 円

- ・主にパソコン教室のパソコン使用料に要する経費である。
- ・藤代地区小学校5校のパソコン教室にて、1人1台の学習ができるよう、タブレット型パソコンを整備した。

○ 効果

- ・小学校14校において、パソコン教材を活用した学習により、一層の教育の充実が図られた。
- ・藤代地区小学校5校においては、可動式のタブレット型パソコンを整備したことで、普通教室や特別教室でもデジタル教材を利用した学習ができるようになった。

[担当：学務給食課] P. 363

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 34,918,184 円 (31,646,992 円)

[国・県 3,477,421 円 一財 31,440,763 円]

\* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 126,442 円×1/2≒63,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 5,455,819 円×1/2 以内≒2,727,500 円]

[県補：県被災児童就学支援等事業補助金 686,921 円×10/10=686,921 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

- ・要保護、準要保護及び被災児童就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	被災児童数	合 計
H28	23 人	437 人	10 人	470 人
H27	21 人	417 人	10 人	448 人

- ・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H28	245 人	167 人
H27	188 人	131 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与すること

ができた。

[担当：指導課] P. 363

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,450,458円(2,476,917円)

[一財 2,450,458円]

○ 目的

音楽発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| ・音楽発表会送迎バス借上料・楽器運搬費 | 1,064,480円 |
| ・陸上記録会補助金           | 1,310,000円 |
| ・賞状印刷代              | 75,978円    |

○ 効果

市音楽会、体育大会等への参加により、児童のスポーツ等への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

## 2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課・学務給食課] P. 365

2101 小学校施設整備に要する経費 41,176,748円(509,426,169円)

[その他 27,017,000円 一財 14,159,748円]

\* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 27,017,000円]

○ 目的

建築基準法第12条第2項及び第4項により、建築物の損傷、腐食、その他の劣化の状況の点検ならびに構造、敷地について定期点検を行う。

久賀小学校プールは、水槽内の塗膜剥離やコンクリートの劣化が著しいことから塗装改修工事を行う。

小学校の校内LANは、機器の劣化が著しいことから改修を行うものである。また、校内に無線LANの環境が整備されていないため、パソコン教室に導入されているタブレット型情報端末を普通教室や特別教室で更なる利活用ができるよう無線LAN環境を新たに整備する。

学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

- |        |   |             |
|--------|---|-------------|
| ・委託料   | 小学校建築物定期点検業務委託                            | 1,890,000円  |
| ・委託料   | 小学校校内LAN改修工事实施設設計業務委託料<br>(藤代小、宮和田小、桜が丘小) | 972,000円    |
| ・工事請負費 | 久賀小プール塗装改修工事                              | 4,050,000円  |
| ・工事請負費 | 小学校校内LAN改修工事<br>(白山小、取手東小、戸頭小、寺原小)        | 22,345,200円 |
| ・工事請負費 | 施設管理営繕工事                                  | 11,529,216円 |

○ 効果

建築基準法第12条第2項及び第4項により、建築物の損傷、腐食、その他の劣化の状況について定期点検を行い、維持保全上の安全確保に努めた。

久賀小学校プールは、塗装改修工事を行い、教育環境の充実が図られた。

白山小、取手東小、戸頭小、寺原小学校では、校内 LAN の改修工事に伴い、無線 LAN の環境整備を行ったことで、普通教室や特別教室においても、情報の取得がしやすい快適な教育環境にすることができた。また、藤代小、宮和田小、桜が丘小校内 LAN 改修工事の実施設計を行い、平成 29 年度工事実施に向けての準備が進められた。

[担当：教育総務課] P. 365

2213 小学校建設事業に要する経費（高井小学校） 319,032,000 円（799,200 円）

[国・県 98,842,000 円 地方債 209,000,000 円 その他 11,190,000 円]

\* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 98,842,000 円]

[市債：合併特例債（319,032,000 円-98,842,000 円）×95%≒209,000,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 11,090,000 円]

[諸収入：学校給食用冷凍庫保管設備助成金 100,000 円]

○ 目的

老朽化の著しい校舎ならびに体育館の大規模改造工事（外壁、屋根および内装改修・トイレ改修）を行い、学校環境の向上を図る。

○ 内容

- ・委託料 校舎・体育館大規模改造工事監理業務委託料 7,992,000 円
- ・工事請負費 校舎・体育館大規模改造工事 311,040,000 円

○ 効果

老朽化の著しい校舎ならびに体育館の大規模改造工事（外壁、屋根および内装改修・トイレ改修）を行い、学校環境の向上が図られた。

[担当：教育総務課] P. 365

2214 小学校建設事業に要する経費（山王小学校） 8,391,600 円（0 円）

[地方債 7,900,000 円 その他 491,000 円 一財 600 円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 8,391,600 円×95%≒7,900,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 491,000 円]

○ 目的

老朽化の著しい校舎ならびに体育館の大規模改造工事（外壁、屋根および内装改修・トイレ改修）実施設計を行い、平成 29 年度着工に向けて準備を進める。また、体育館において耐震化が未了であることから、併せて耐震補強工事実施設計を進める。

○ 内容

- ・委託料 校舎大規模改造・体育館耐震補強大規模改造工事実施設計業務委託料 8,391,600 円

○ 効果

老朽化の著しい校舎ならびに体育館の大規模改造工事（外壁、屋根および内装改修・トイレ改修）・耐震補強を含めた実施設計を行い、平成29年度に速やかに工事が実施できるよう準備が進められた。

[担当：教育総務課] P. 365

2215 小学校建設事業に要する経費（六郷小学校） 25,290,360円（0円）

[地方債 23,700,000円 その他 1,590,000円 一財 360円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 25,290,360円×95%≒23,700,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,590,000円]

○ 目的

老朽化の著しい校舎ならびに体育館の大規模改造工事（外壁、屋根および内装改修・トイレ改修）実施設計を行い、平成29年度着工に向けて準備を進める。また、校舎ならびに体育館において耐震化が未了であることから、併せて耐震補強工事実施設計を進める。

○ 内容

・委託料	学校敷地測量業務委託料	5,983,200円
	校舎・体育館耐震補強大規模改造工事実施設計業務委託料	19,307,160円

○ 効果

老朽化の著しい校舎ならびに体育館の大規模改造工事（外壁、屋根および内装改修・トイレ改修）・耐震補強を含めた実施設計を行い、平成29年度に速やかに工事が実施できるよう準備が進められた。

[担当：教育総務課] P. 365

2218 小学校建設事業に要する経費（久賀小学校） 25,412,400円（0円）

[地方債 24,100,000円 その他 1,312,000円 一財 400円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 25,412,400円×95%≒24,100,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,312,000円]

○ 目的

老朽化の著しい校舎ならびに体育館の大規模改造工事（外壁、屋根および内装改修・トイレ改修）実施設計を行い、平成29年度着工に向けて準備を進める。また、校舎において耐震化が未了であることから、併せて耐震補強工事実施設計を進める。

○ 内容

・委託料	校舎耐震補強大規模改造・体育館大規模改造工事実施設計業務委託料	25,412,400円
------	---------------------------------	-------------

○ 効果

老朽化の著しい校舎ならびに体育館の大規模改造工事（外壁、屋根および内装改修・トイレ改修）・耐震補強を含めた実施設計を行い、平成29年度に速やかに工事が実施できるよう準備が進められた。

## 2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 367

2001 給食運営に要する経費 270,800,399円（284,660,312円）

[その他 172,917,556円 一財 97,882,843円]

＊ 特財内訳

[諸収入：小学校給食代（自校分） 172,887,585 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 29,971 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主な経費

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(12校)	1,100,088 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(8校)	1,468,800 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(8校)	1,137,024 円
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除(14校)	604,800 円
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託(6校) (取手小、白山小、寺原小、永山小、 取手西小、戸頭小)	72,252,000 円
空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託 (8校)	286,200 円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P.369

2101 給食施設整備に要する経費 3,845,033 円 (4,656,781 円)

[一財 3,845,033 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

施設修理や厨房機器等の修繕を行った。

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

### 3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P.371

2001 中学校管理に要する経費 67,970,014 円 (65,121,443 円)

[その他 1,481,572 円 一財 66,488,442 円]

＊ 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 900,000 円]

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 444,400 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 112,600 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 20,784 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 3,788 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」

へ繋げる。

○ 内容

教育補助員を4校(取手一中、取手二中、藤代中、藤代南中)に配置し、障害のある生徒の生活支援を行った。(6,225,426円)

○ 効果

教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援を行なった。

[担当：教育総務課] P.373

2101 中学校施設管理に要する経費 21,257,437円 (21,549,057円)

[一財 21,257,437円]

○ 目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

主な経費

- ・修繕料 各中学校の施設修繕料 7,583,481円
- ・委託料 各中学校の委託料 12,141,742円  
設備保守点検(機械警備、浄化槽、消防設備、電器設備、エレベーター等の保守点検委託等)  
樹木維持管理(草刈清掃、樹木消毒、剪定処分委託等)

○ 効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P.375

2201 中学校保健衛生に要する経費 14,077,330円 (13,859,348円)

[その他 954,960円 一財 13,122,370円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460円×2,076人=954,960円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(12名)、歯科医(10名)、薬剤師(6名)、産業医(6名)の報酬
- ・生徒、教職員健康診断委託 委託先：(公社)取手市医師会

中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
H28	2,399人	505人	949人	2人	505人
H27	2,367人	478人	929人	4人	478人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。



## 職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
H28	35人	35人	35人	3人	36人	35人	35人
H27	36人	36人	36人	4人	35人	36人	36人

・学校環境衛生検査の実施(プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査)

### ○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

## 3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P.375

2001 中学校教育振興に要する経費 6,059,181円 (6,008,434円)

[一財 6,059,181円]

### ○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

### ○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(6校) 6,059,181円

### ○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P.377

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 14,700,637円 (15,437,772円)

[国・県 628,000円 一財 14,072,637円]

\* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費補助金 628,000円]

### ○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

### ○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図書	合計
H28	5,312,258	1,816,115	5,052,497	12,180,870
H27	6,750,921	1,602,253	5,810,678	14,163,852

### ○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P.377

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 24,349,801円 (26,129,869円)

[一財 24,349,801円]

### ○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

パソコン使用料 23,846,400 円

- ・主にパソコン教室のパソコン使用料に要する経費である。

○ 効果

中学校 6 校において、パソコン教材を活用した学習により、一層の教育の充実が図られた。

[担当：学務給食課] P.377

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 31,926,879 円 (30,742,677 円)

[国・県 1,297,386 円 一財 30,629,493 円]

\* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学奨励費補助金 403,130 円×1/2≒201,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 1,524,951 円×1/2 以内≒757,500 円]

[県補：県被災生徒就学支援等事業補助金 338,886 円×10/10=338,886 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

- ・要保護、準要保護及び被災生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	被災生徒数	合 計
H28	15 人	275 人	3 人	293 人
H27	12 人	276 人	4 人	292 人

- ・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H28	62 人	31 人
H27	47 人	21 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P.377

2901 中学校特別活動助成に要する経費 18,126,267 円 (16,722,411 円)

[一財 18,126,267 円]

○ 目的

音楽発表・体育大会(県南大会・県大会・関東大会・全国大会)等を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

- ・音楽コンクール参加負担金 672,000 円
- ・中学校体育連盟補助金(陸上競技大会等運営経費) 530,000 円
- ・市内体育大会補助金(陸上・総体・新人バス代半額補助) 3,281,804 円

- ・ 関東大会補助金（総体 4 競技・空手道大会） 484,522 円
- ・ 全国大会補助金（総体 2 競技・空手道大会・ソフトテニス） 1,687,876 円
- ・ 大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費 11,393,763 円
- ・ 消耗品・賞状印刷代 67,052 円
- ・ 運動部活動外部指導者賠償保険料 @1,850 円×5 人=9,250 円

○ 効果

市音楽会、音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

### 3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.379

2001 中学校施設整備に要する経費 279,124,240円（25,212,571円）

[地方債 256,300,000 円 その他 13,517,000 円 一財 9,307,240 円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 269,817,480 円×95%≒256,300,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 13,517,000 円]

○ 目的

建築基準法第 12 条第 2 項及び第 4 項により、建築物の損傷、腐食、その他の劣化の状況の点検ならびに構造、敷地について定期点検を行う。

近年猛暑日が増加する中、生徒の熱中症対策ならびに快適な学習環境を整えるため、空調設備の設置工事を行う。

学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

- ・ 中学校建築物定期点検業務委託料 1,263,600円
- ・ 中学校空調設備設置工事 269,817,480円
- ・ 施設管理営繕工事 7,803,400円

○ 効果

建築基準法第 12 条第 2 項及び第 4 項により、建築物の損傷、腐食、その他の劣化の状況について定期点検を行い、維持保全上の安全確保に努めた。

各中学校施設の空調設備設置工事を行い、生徒の熱中症対策ならびに快適な学習環境を提供することができた。また、学校施設の営繕工事を実施し、安全な教育環境の充実が図られた。

### 3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P.379

2001 給食運営に要する経費 152,172,930 円（148,457,364 円）

[その他 91,758,672 円 一財 60,414,258 円]

\* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代（自校分） 91,746,839 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 11,833 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主な経費

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(6校)	700,920円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(4校)	637,200円
給食室害虫防除委託料	給食室等の害虫の防除(6校)	637,200円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(4校)	590,976円
学校給食調理業務民間委託料	給食調理業務の民間委託(4校) (取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	46,839,600円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 381

2101 給食施設整備に要する経費 2,128,005円(1,942,983円)

[一財 2,128,005円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

施設修理や厨房機器等の修繕を行った。

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

#### 4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P. 383

2001 幼稚園管理に要する経費 11,472,776円(10,875,522円)

[その他 2,537,483円 一財 8,935,293円]

\* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園保育料(保護者負担分) 2,373,350円]

[使用料：市立幼稚園預かり保育料 126,200円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 37,933円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

	年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
園児数	H28	29人	23人	52人
	H27	21人	23人	44人

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：学務給食課] P. 385

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 648,271円(647,717円)

[その他 7,020円 一財 641,251円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135円×52人=7,020円]

○ 目的

学校保健安全法に基づく健康診断を実施し、園児の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・幼稚園嘱託医(1名)、歯科医(1名)、薬剤師(1名)の報酬
- ・園児健康診断委託 委託先：(公社)取手市医師会

区分	腎臓検診
H28	52人
H27	44人

※平成28年度から蠕虫検査は実施なし。

○ 効果

園児の健康の保持増進が図られた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P. 385

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 29,522,800円(30,618,200円)

[国・県 9,038,000円 一財 20,484,800円]

\* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費

29,522,800円×1/3以内≒9,038,000円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
市民税非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	0人	2人	3人	2人	7人
市民税非課税世帯 (ひとり親世帯等)	0人	1人	0人	0人	1人
市民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	1人	0人	3人	1人	5人
所得割課税 77,100円以下 (ひとり親世帯等除く)	1人	6人	9人	8人	24人
所得割課税 211,200円以下	7人	44人	40人	44人	135人
上記区分以外の世帯	5人	15人	12人	8人	40人
合 計	14人	68人	67人	63人	212人

○ 効果

園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 385

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 7,070,390 円 (7,337,896 円)

[一財 7,070,390 円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	15人	75人	79人	78人	247人

補助額 7,057,500 円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

## 5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 389

2001 成人式に要する経費 1,704,976 円 (1,847,500 円)

[一財 1,704,976 円]

○ 目的

成人に達した若者の新たなる門出と今後の活躍を願い、式典を開催することで祝福する。

○ 内容

平成28年度新成人の該当者の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H28 (H29.1.8 実施)	男	501	334	66.67
	女	515	344	66.80
	計	1,016	678	66.73
H27 (H28.1.10 実施)	男	543	372	68.51
	女	519	352	67.82
	計	1,062	724	68.17

○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで良い記念となる冊子の作成ができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 389

2201 生涯学習推進に要する経費 5,278,671 円 (4,151,690 円)

(2,906,080 円) ※ 〈 〉 は、うち27年度繰越分

[その他 1,026,000 円 一財 4,252,671 円]

＊ 特財内訳

[諸収入：市民大学講座受講料 1,026,000 円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1) 生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア 2016(来場者約 1,200 人)と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容
取手生活学校	牛乳パックで作る銘々皿
昔あそびコーナー	昔の遊び(お手玉・折り紙・ベーゴマ・あやとりなど)体験
ふじしろ野鳥と楽しむ会	野鳥写真の展示、ミニ探鳥会の開催 鳥のぬり絵、野鳥クイズ

(2) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容をとりで学遊プラザリーダーバンク及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H28		H27	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・講座数	15	410 人	18	701 人
行政編・講座数	44	1,416 人	41	1,365 人

(3) 市民大学講座

市民がだれでも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名	開催日	受講者
吉田松陰と松下村塾	4月12日～6月7日	91人
健康に生きるために	5月19日～7月14日	51人
わかりやすい源氏物語VI	7月19日～8月30日	91人
歌舞伎座観劇の基礎講座	9月2日～10月21日	51人
取手の歴史	11月17日～2月16日	107人
安心な海外旅行の心得と世界遺産への旅	1月24日～2月28日	58人

通常の市民大学に加え、東京大学(東京大学 EMP)から講師を招き、一層多極化し、複雑化する世界においても通用する、課題設定と解決の能力を身につける先端的な、東京大学 EMP 特別講座と市民大学特別講座を開講した。

東京大学 EMP 特別講座「明るい未来を拓く先端知」

講座名	開催日	受講者
『宇宙 138 億年解説』	12月26日	158人
『人間はどこから来て、どこへ行くのか?』	12月27日	140人
『インドの伝統思想に学ぶ』	1月30日	132人
『おいしく食べて健やかに』	2月6日	129人

市民大学大学特別講座「納得できる『幸せ』のカタチとは」

講座名	開催日	受講者
『幸福の自治体運営』	11月8日	65人
『幸福社会への巨大転換』	1月16日	186人

特別講座

講座名	開催日	受講者
創年市民大学	7月8日～3月3日	32人
女性プロジェクト	11月18日～2月24日	20人

特別講演会

講座名	講師	開催日	受講者
「父・太宰治と二葉亭四迷」	講師:太田治子	5月15日	360人
「夢はかならずかなう」	講師:舞の海秀平	2月4日	339人

(4) 農業ふれあい体験事業

委託料 198,000 円(取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託)

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/14(田植え) 9/10(稲刈り)	農業 ふれあい 公園	親子 264 人 (うち台東区民 42 人)

(5) 家庭教育学級

市立幼・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。 22 学級 延べ参加人数 3,788 人

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室に於いて幅広い世代に対して、交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

市民大学講座では、従来の講座に加えて、東京大学のエグゼクティブ・マネジメント・プログラムの教授陣を講師に迎え、「明るい未来を拓く先端知」と東京大学名誉教授を迎えての「納得できる『幸せ』のカタチとは」について特別講座を開催し、市民が最先端の知識に触れる機会となった。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、親の学びの場として、子育てに関する情報提供や読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。

[担当：文化芸術課] P. 391

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 4,106,945 円 (3,963,974 円)

[その他 2,212,000 円 一財 1,894,945 円]



＊ 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,212,000 円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第 45 回 取手市文化祭 (取手地区)	11/3, 5, 6 (3 日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。 伎芸発表と作品展を開催した。 会場：市民会館・福社会館 委託料：1,000,000 円	6,255 人
平成 28 年度 取手市藤代 文化祭 (藤代地区)	5 月～6 月 (2 か月間) 10 月 30 日 音楽祭	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。 作品展、体験型催事及び部門発表を開催した。 会場：藤代公民館（音楽祭のみ市民会館） 委託料：500,000 円	2,235 人
2016 取手美術 作家展	6/18～6/29 (12 日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展 に委託して開催した。37 名 52 点出品。 オープニングセレモニーではギャラリーコンサ ート等、また、一般向けギャラリーツアー、市内 小中学生向けギャラリーツアー(4 日間)実施。 (参加校 9 校、683 名) 会場：取手ウェルネスプラザ 委託料：712,000 円	2,346 人
第 47 回 取手市民 美術展	10/28～12/5 (うち 33 日間)	第 1 部 洋画、彫刻、デザイン 80 点 第 2 部 日本画、写真、書、工芸 65 点 第 3 部 小中学生、特別支援学級 1,165 点 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費：350,669 円	4,290 人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	488,000 円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000 円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000 円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	200,000 円	団体の運営補助
取手合唱連盟	130,000 円	一般公募補助事業採択

○ 効果

各文化団体への補助金は、市民が行う文化活動の活性化に寄与することができた。  
また各団体が行う事業は内容を工夫することで来場者が増加した。

[担当：文化芸術課] P. 391

2901 市民会館・福社会館管理運営に要する経費 92,371,925 円 (104,354,855 円)

[その他 310,000 円 一財 92,061,925 円]

＊ 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 310,000 円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 需用費(修繕料)：1,006,387 円

修繕名	内容	工期	金額
福社会館ガス空調設備修繕	ガス空調設備修繕	5/3～5/16	362,707 円
市民会館オーニング補修	オーニング生地張替、枠組み修理	7/20～8/9	298,080 円
福社会館ベランダ防水工事	ベランダ水漏れ防水	9/22～10/31	345,600 円

(2) 委託料

- ・平成 18 年度から市民会館・福社会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：公益財団法人取手市文化事業団

指定管理委託料：90,508,000 円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用日数／使用可能日数)
H28	市民会館	106 件	35,163 人	57.0%
	福社会館	8,604 件	186,680 人	100.0%
H27	市民会館	158 件	54,478 人	56.4%
	福社会館	7,993 件	190,490 人	100.0%

(3) 工事請負費：615,600 円

工事名	内容	工期	金額
福社会館排水管改修工事	排水管改修	3/3～3/31	615,600 円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸術の振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.393

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 3,947,647 円 (4,060,393 円)

[その他 1,344,000 円 一財 2,603,647 円]

＊ 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 1,344,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円 (500,000 円×2 人)

第 65 回東京芸術大学卒業・修了作品展において優秀作品 2 点(工芸)に市長賞を授与した。受賞作品は本庁舎等に展示した。

種類	作品名	作者
工芸(彫金)	心の塔—喜怒哀楽—	有賀 幸奈
工芸(漆芸)	走レ	大崎 風実

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

指導者謝礼:2,402,000円(東京芸術大学美術学部及び音楽学部学生等)

東京芸術大学の学生等が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術:小学校の授業で児童に絵画技法等を指導した。(交流校14校)
- ・音楽:中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。(交流校6校)

(3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼:256,000円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
5/21(土)	取手ウェルネスプラザ	声楽	5人	208人
7/30(土)	井野公民館	弦楽四重奏、ピアノ	6人	220人
12/17(土)	福祉交流センター	金管五重奏	5人	200人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当:文化芸術課] P.395

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費

35,098,426円(25,493,314円)

〈4,268,000円〉※〈〉は、うち27年度繰越分

[国・県 2,483,000円 その他 16,149,976円 一財 16,465,450円]

\* 特財内訳

[国補:文化芸術振興費補助金 2,483,000円]

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 1,296,000円]

[諸収入:井野アーティストヴィレッジ利用料 4,874,976円]

[諸収入:オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 4,979,000円]

[諸収入:地域の芸術環境づくり助成金 5,000,000円]

○ 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行う。東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手音楽の日「取手 JAZZ・DAYZ」

○ 内容

委託料:4,000,000円(公益財団法人取手市文化事業団)

取手市民会館及び福祉会館で東京芸術大学、アマチュアバンド、プロバンドの演奏を行った。

○ 効果

取手市内だけでなく市外近郊からたくさんの方が来場し優れた演奏を鑑賞することができた。

(2)水と緑と祭りの広場イルミネーション

○ 内容

委託料:2,268,000円(藤代イルミネーション実行委員会)

光の芸術に触れ合う機会を提供し行き交う人の目を楽しませることを目的に、藤代庁舎前の公園「水と緑と祭りの広場」にイルミネーションを設置した。イルミネーション事業は、平成26年度から実施しており、平成28年度は「昼も夜も楽しめるイルミネーション」をコンセプトにねぶたと同じ構造のイルミネーションを制作した。その他にも、ワークショップや写真撮影講座等も実施した。

○ 効果

人々が集う場所にイルミネーションを設置することは光の芸術に触れ合う機会を提供し、芸術文化の育成に貢献することができた。

(3)壁画によるまちづくり

○ 内容

委託料:6,993,000円(取手市壁画によるまちづくり実行委員会)

芸術が生活の中に自然に溶け込んだアートのあるまちづくりを目指し、平成17年度から「取手市壁画によるまちづくり実行委員会」を立ち上げ、東京芸術大学の協力を得ながら、「壁画」制作を中心としたプロジェクトを展開してきた。市民には大変好評であり、環境改善や防犯にも大きな役割を果たしてきた。

平成28年度は国際コンペティションを実施し、応募作品28点のうち大賞に選ばれた取手市では初となる外国人アーティスト(スリランカ出身)の作品が「藤代駅西側藤代跨線橋橋脚」に完成した。また、取手駅東口のロータリー脇の4枚のプレート(旧取手リサイクリングアートパレット)には、東京芸術大学学生により、四季の花などが描かれた壁画が完成した。

その他に、取手駅東西連絡通路内では壁面に設置したスクリーンにより映像作品の公開を行った。

○ 効果

「壁画」を制作することにより、落書きや不法ビラ等の犯罪をなくし、安全で快適な市民生活を実現し、芸術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。

(4)取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料:700,000円(NPO法人取手アートプロジェクトオフィス)

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、芸術文化団体のアート活動を資金面、広報発信面で支援した。

①「とりでグラント！」アーティストの広報(ポスター・チラシ等)活動支援事業(4団体)

②「とりでアートの日。」と題したとりでアートギャラリーを会場としたワークショップ事業(7団体・7本)

○ 効果

この事業を通して取手を舞台に活動する芸術文化団体が、それぞれの活動を連携して発信することで市民の芸術体験の機会が増え、取手がより芸術に親しめるまちとして効果をあげた。

(5) ウェルネスプラザコンサート

○ 内容

委託料:2,000,000円(東京芸術大学)

市民の健康づくりの交流拠点となるウェルネスプラザの開館を記念し、東京芸術大学ウインドオーケストラによるコンサートを開催した。第一部は0歳児から入場可、第二部は一般向けとし、クラシック音楽を中心に幅広い年齢層に対応できるコンサートとした。

○ 効果

ウェルネスプラザの「健康づくり」「子育て」「市民交流」の3つの支援機能をコンセプトとしたコンサートを開催することで、市民が心豊かで健やかな生活を享受し、さらなる文化・芸術の振興を図ることができた。

(6) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

賃借料:5,687,472円

東京芸術大学と市が連携し、空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして貸し出す。

- ・東京芸術大学が7戸の施設整備費を負担
- ・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担
- ・1戸につき2名以上、利用期間2年
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件
- ・賃借人数

スタジオ名	101(管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	4人	3人	4人	4人	5人	5人

○ 効果

25名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。7月にオープンスタジオを開催し、ワークショップ、トークイベント、アーティスト青空市を行った。また、JR上野駅のステーションギャラリーにおいて代表作家2名による作品展示を行った。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(7) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金:3,240,000円(取手アートプロジェクト実行委員会)

取手アートプロジェクト(TAP)は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

平成28年度事業内容	半農半芸、アートのある団地 等
開催期間	通年
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「半農半芸」は、高須地区を拠点として、地域資源の発掘と地域の取手アートプロジェクトへのニーズの掘り起しに取り組み、地域行事への積極的な参加や耕作放棄地での綿花の栽培など地域環境の整備を行った。のべ1,193名の参加。</li> <li>・「アートのある団地」は、戸頭団地や井野団地を中心に住民参加型アート作品を制作し、東京藝大生や市内アーティストとの連携プログラムとして展覧会等を実施した。のべ7,334人の参加。</li> </ul>

○ 効果

取手アートプロジェクトは、従来のフェスティバル型から通年型のプロジェクトに移行して以来、今年も長期的な視野に立つ企画の枠組みとして「アートのある団地」と「半農半芸」の2つの軸でプロジェクトを展開。取手アートプロジェクトを支えるスタッフの自主的で個性的な企画運営は、評価される場所である。当事業はアートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

(8) 地域の芸術環境づくり助成金

○ 内容

補助金:5,000,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

公益財団法人自治総合センター「平成28年度コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成事業）」の助成を受けた事業。「創造郊外・インタビューリレー」の実施。

(9) 文化芸術振興費負担金

○ 内容

補助金:2,483,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

文化庁「平成28年度文化芸術振興費補助金（文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業）」の助成を受けた事業。「創造郊外都市ーアジア圏での革新的アートプロジェクトの実践と発信」の実施。

(10) ストリートアートステージ照明修繕

○ 内容

修繕料:1,077,840円

修繕名	内容	工期	金額
ストリートアートステージ照明修繕	照明修繕	3/18～3/31	1,077,840円

取手駅東口の区画整理事業の完成を記念して作成されたストリートアートステージは、芸術を身近に感じることができる屋外ギャラリーとして市民に親しまれているが、破損等で作品の夜間ライトアップが出来ないため設備改修を実施した。

○ 効果

設備の改修を行うことで人々が集う夜間でも芸術作品を身近に感じ芸術文化の育成に貢献することができた。

(11) キャプション設置工事

○ 内容

工事請負費:1,296,000円

市内5ヶ所にあるストリートアートステージリングのうち4ヶ所に説明用プレートを設置。（残り1ヶ所は設置済み）

[担当：文化芸術課] P. 395

3401 市民会館改修事業に要する経費 264,114,000円(22,237,200円)

[地方債 194,500,000円 その他 69,614,000円]

\* 特財内訳

[市債：市民会館整備事業債 259,416,000円×75%≒194,500,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 69,614,000円]

○ 目的

市民会館は開館から45年が経過し、機器の老朽化が著しく冷暖房の運転能力が低下している。また、配管設備も腐食等による事故が懸念されることから設備の交換改修を計画し、実施設計及び改修工事を行ない施設の適切な運営管理を図る。

併せて、内部施設も開館以来、大規模な改修を行っていないため設備の劣化が激しく改修を行うものである。

○ 内容

(1) 委託料：3,888,000円

委託名	内容	期間	金額
市民会館改修工事实施設計業務委託	内部施設改修	5/11～8/31	3,888,000円

(2) 工事請負費：255,528,000円

工事名	内容	工期	金額
市民会館改修工事	市民会館内部改修	10/26～3/15	113,076,000円
市民会館空調設備改修工事	市民会館空調設備改修	6/24～3/15	142,452,000円

(3) 備品購入費：4,698,000円

市民会館・福祉会館モニターカメラ装置システム購入

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸術の振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 397

3501 IT基礎技術講習会に要する経費 1,788,930円(1,972,152円)

[一財 1,788,930円]

○ 目的

IT講習会の内容充実と市民の情報収集・発信能力の向上に努める。

○ 内容

急速に進展する情報化社会に対応するため、パソコンボランティアを中心に公民館を利用して成人を対象にIT講習会を実施した。

○ 効果

パソコンの基本操作やワード、エクセルの入門講座に加えて、デジカメ入門や動画作成等の幅広いニーズに対応した講習会を実施し、多くの受講生の技術向上に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 397

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 6,596,547円(7,221,070円)

[その他 296,950 円 一財 6,299,597 円]

\* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 218,800 円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 78,150 円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
歌川広重展	5/17～ 5/30	江戸後期の浮世絵師、歌川広重の代表作「名所江戸百景」より筑波山が描かれた 14 点とその他の作品を展示した。	453 人
近代日本の夜明け～幕末維新遺墨展	7/9～ 7/21	幕末維新の名士（坂本龍馬、伊藤博文、吉田松陰等総勢約 60 名）たちの書画展を開催し、幕末維新の書幅、書額等約 120 点を展示した。	1,709 人
にこにこ元気なとりでっ子!	7/30～ 8/31	市内公立、私立保育所(園)・幼稚園 17 カ所に通う 4 歳児、5 歳児の絵画約 650 点と立体工作物を合同で展示。合わせて 4 カ所の子育て支援センターの取り組みを紹介した。	1,139 人
小中学生児童生徒作品展	1/27～ 2/13	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ(県展入選作品を含む)の優秀作品展。	1,553 人

(2) アートギャラリーきらり貸出実績

期間	展示名
4/14～4/20	16 人 + α 写真展
4/22～4/27	東日本銀行 OB と家族の作品展
6/2～6/7	絵を描く仲間たち展
7/21～7/24	君光と門人たち展
9/13～9/19	いばら会パステル画展
9/24～9/25	取手市小中学校科学研究作品展・発明工夫展
10/1～10/14	加藤邦元日本画展
12/8～12/13	高橋朋子押し花教室展
12/15～12/28	JR 常磐線取手駅開業 120 周年記念写真展
1/6～1/9	MOA 美術館児童作品展取手市巡回展
2/17～2/20	聖和会書道展
3/2～3/8	萌黄の会写真展
3/10～3/16	取手洋画クラブ展

(3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行なった。

利用件数

ギャラリー名	平成 28 年度	平成 27 年度
取手駅市民ギャラリー	51 件	52 件
藤代駅市民ギャラリー	24 件	28 件



○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 397

3801 放課後児童対策事業に要する経費 121,568,262 円 (122,489,115 円)

[国・県 46,903,000 円 その他 39,367,148 円 一財 35,298,114 円]

\* 特財内訳

[国補：子ども・子育て支援交付金 @59,187,000 円×1/3=19,729,000 円]

[国補：子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金  
@40,000 円×1/2=20,000 円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 @57,828,000 円×1/3=19,276,000 円]

[県補：放課後児童対策事業補助金  
放課後子供教室推進事業費補助金 @6,621,000 円×2/3=4,414,000 円  
地域の教育支援体制等構築事業費補助金  
@5,196,620 円×2/3=3,464,000 円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 38,951,250 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 415,898 円]

○ 目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

○ 内容

子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校 1 年生から小学校 6 年生を対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、様々な体験活動を行うなど、総合的な放課後児童対策事業として実施した。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

放課後子どもクラブ登録児童数(通常利用登録者)

平成 29 年 3 月 31 日現在(単位:人)

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取 手 小	47	42	41	25	22	5	182
白 山 小	46	38	41	31	20	14	190
取手東小	56	64	42	40	31	14	247
寺 原 小	41	43	41	24	20	14	183
永 山 小	48	32	33	25	14	1	153
取手西小	27	33	22	37	18	10	147
戸 頭 小	52	55	51	44	16	9	227
高 井 小	26	10	14	13	6	3	72
山 王 小	9	9	6	3	7	1	35
六 郷 小	6	16	17	6	3	7	55
藤 代 小	49	35	31	37	14	8	174
宮和田小	40	28	24	30	23	4	149

久賀小	24	21	21	13	6	6	91
桜が丘小	26	22	24	14	13	6	105
合計	497	448	408	342	213	102	2010

○ 効果

児童の健全育成のために貢献することができた。また、全学年・全児童を対象としたことで異学年間の交流も図ることができた。

## 5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P. 401

0501 公民館事務に要する経費 842,422,898 円 (71,824,887 円)

〈16,986,000 円〉※〈〉は、うち 27 年度繰越分

[国・県 1,897,000 円 地方債 661,200,000 円 その他 40,808,996 円

一財 138,516,902 円]

\* 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成分) 1,897,000 円]

[市債：公民館用地取得事業債 340,368,888 円×75%≒255,200,000 円]

[市債：合併特例債 (429,300,000 円-1,897,000 円)×95%≒406,000,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 32,184,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,347,000 円]

[使用料：公民館使用料 5,380,600 円]

[手数料：コピー手数料 224,790 円]

[諸収入：災害共済金 192,240 円]

[諸収入：印刷機使用料 75,965 円]

[諸収入：電話通話料 550 円]

[諸収入：工事に伴う公民館光熱水費 403,851 円]

○ 目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

○ 内容

主な修繕・工事	・ 藤代公民館耐震補強・大規模改造工事	419,796,000 円
	・ 藤代公民館耐震補強・大規模改造工事監理	9,504,000 円
	・ 井野・寺原公民館空調機改修工事	2,881,440 円
	・ 相馬公民館駐車場整備工事	2,538,000 円
	・ 公民館施設修繕料	7,851,355 円

○ 効果

藤代公民館の建物や設備の老朽化に加え、耐震基準を満たしていない建物でもあることから、耐震補強工事並びに、利用者の多くが高齢者のためエレベーターの設置を含めた大規模改造工事を実施した。

また井野公民館と寺原公民館の調理室の改修や相馬公民館の駐車場整備を行い、施設の充実、並びに利用者への利用環境整備を図った。

また、各公民館の付帯設備等の老朽化に伴う故障や破損等で、使用に支障がある付帯設備等の修繕を行い、利用者の利便性を図った。

さらに、取手市土地開発公社が(仮称)新取手公民館用地として先行取得をした保有地について、総務省、茨城県より計画的な保有地の処分を実施する旨の指導を受けたため、保有地の買い戻しを行い土地開発公社の土地の整理を図った。

[担当：公民館] P. 403

2101 公民館活動に要する経費 1,487,147円 (1,644,920円)

[一財 1,487,147円]

○ 目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として重要な役割を担う。そのため、地域の特色を生かした事業を展開し、地域の振興を図る。

○ 内容

(1) 公民館各種事業

市内 14 公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	ヒップホップ入門	6月	1	40	ヒップホップを体験。戸頭子どもふれあい広場と共催
	戸頭子どもまつり	7月	1	300	レクリエーションを通じて地域の子どもの交流を図る。
	新春子どもの集い	1月	1	160	餅つき大会、どんど焼きを行い、伝統行事や習慣を伝える。
	サマースクール	8月(3館)	3	33	小学生を対象にダンスや和太鼓などの体験型教室や工作教室を実施した。
	親子ふれあい事業他	7月・12月	5	392	親子を対象に世代間交流事業を開催。流しそうめん体験やしめ縄作り、凧作りなどを行った。
	クリスマス人形劇	12月	1	200	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	クリスマスケーキ作り教室	12月	1	20	クリスマスケーキ作りを楽しく学ぶ。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
婦人	婦人学級	年間	各学級 10～11	1学級 13人～38人 8学級(194人)	出合いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 10～12	1学級 19人～100人 3学級(145人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤代学園	4月～6月	3	1学級 219人	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
	ローンボール大会	9月	1	24	高齢者の親睦と健康維持。

成人	ふるさと講座	6月～10月	5	158	郷土に関することの学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	着付け教室	7月・8月 ・12月	3	19	ゆかたや、正月の着物の着付けを学習した。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	11月	1	34	高須地区のお父さん、お母さんの研修視察を行い、交流を図る。
	初心者のそば打ち 体験講座	11月	1	15	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	しめ飾り作り講座	12月 8館	9	181	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
	おもてなしの英会話	10月～3月	6	50	東京オリンピックを前に英会話を学び、外国から来るお客様におもてなし
	体験講座	3月	4	80	永山公民館まつり内で、「生け花」「抹茶の点て方」「占い体験」の体験型講座を実施。
	切り絵講座	1月～2月	3	43	切り絵の作り方を学んだ。出来上がった作品は公民館まつりに展示した。
一般	さつき展示会	6月	2	60	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	ソフトボール大会	6月・10月	2	110	ソフトボールの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ゲートボール大会	10月	1	58	健康増進と地域の親睦と交流を深めた。(戸頭・永山共催)
	ペタンク大会	6月・10月	3	139	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	運動会	5月・10月	3	1,230	六郷、山王で小学校と合同で、相馬は地域で開催。
	クリスマス コンサート	12月	1	120	市民参加型のクリスマスコンサートを開催した。
	ファミリー ウォークラリー	11月	1	190	家族や仲間と一緒に地図を片手に歩くウォークラリーを開催。
	健康づくり講座	6月～2月	7	190	筑波大名誉教授による水と陸の力でロコモティブシンドローム予防の講座。
	夏まつり	8月	3	1,400	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。
公民館まつり	2月～3月	12	4,851	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。	

(2)各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H28	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H27		
小文間公民館	H28	1,210	11,219
	H27	1,180	11,898

永 山 公 民 館	H28	2,845	40,549
	H27	2,870	42,078
寺 原 公 民 館	H28	2,249	37,325
	H27	2,355	39,849
井 野 公 民 館	H28	4,397	83,953
	H27	4,475	82,955
戸 頭 公 民 館	H28	4,410	72,621
	H27	4,499	73,801
白 山 公 民 館	H28	2,937	57,414
	H27	2,927	58,954
藤 代 公 民 館	H28	721	16,569
	H27	3,008	60,942
山 王 公 民 館	H28	950	9,820
	H27	875	8,577
六 郷 公 民 館	H28	1,004	15,602
	H27	944	14,548
相 馬 公 民 館	H28	1,422	18,293
	H27	1,132	14,716
相 馬 南 公 民 館	H28	1,768	20,257
	H27	1,540	20,126
高 須 公 民 館	H28	378	5,553
	H27	364	4,806
久 賀 公 民 館	H28	916	10,959
	H27	847	10,044
計	H28	25,207	400,134
	H27	27,018	441,754

○ 効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

## 5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P. 405

2001 図書館管理運営に要する経費 44,500,245 円 (21,197,499 円)

[地方債 11,000,000 円 その他 10,164,000 円 一財 23,336,245 円]

\* 特財内訳

[市債：合併特例債 11,664,000 円×95%≒11,000,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 10,164,000 円]

○ 目的

利用者に安全で快適な環境を提供するため、適切な施設の維持管理を図る。

○ 内容

修繕等が必要な箇所について、所用の修繕や改修を行った。

事業名	内容	金額(単位:円)
取手図書館業務用エレベーター改修工事	業務用エレベーター改修	11,664,000
取手図書館改修工事	児童コーナー改修、1階床改修、視覚障害者誘導表示設置	3,402,000
電話機設置工事	取手図書館の電話交換システム更新	820,800
取手図書館キュービクル改修工事	受変電設備改修	4,989,600
ふじしろ図書館エレベーター修繕	エレベーター2基修繕	2,095,200

○ 効果

利用者に安全で快適な環境を提供し、生涯学習活動の拠点として、市民の教育・文化の発展に寄与した。

[担当：図書館] P. 407

2101 図書館活動に要する経費 59,772,303円 (60,215,332円)

[その他 177,513円 一財 59,594,790円]

\* 特財内訳

[手数料：コピー手数料 116,240円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 59,473円]

[諸収入：印刷機使用料 1,800円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応すべく、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努め、利用者へのより質の高いサービスと文化的で有意義な図書館資料の提供を図る。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・ システム更新 次期図書館システム更新に係る支援業務（次期図書館システムの要件策定並びにベンダー選定のための支援） 874,800円
- ・ 子育て支援 ブックスタート事業（年間24回656冊）  
乳幼児・児童向け読み聞かせ（のべ210回開催 参加者3,292人）
- ・ 学校との連携 学校図書館への支援（学校司書研修会1回・市教研図書館部会参加1回）  
学校訪問おはなし会（市内小学校15校 3・6年生対象 1,131人）
- ・ 図書館だより ライブラリープラス（6回発行）、ほんバナ（4回発行）
- ・ 図書館まつり 取手図書館（5/22 1,610人）  
ふじしろ図書館（4/24 2,089人）

(2) 登録者数

(単位:人)

年齢別 登録者数	0～ 6歳	7～ 12歳	13～ 15歳	16～ 18歳	19～ 22歳	23～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 ～	合計
H28	706	2,524	1,800	1,908	2,180	3,233	5,481	6,578	3,960	12,352	40,722
H27	709	2,684	1,834	2,163	2,572	3,834	6,270	7,142	4,323	13,009	44,540
H26	712	2,703	1,882	2,098	2,359	3,575	6,143	6,500	4,052	12,167	42,191
H25	701	2,777	2,113	2,399	2,925	4,652	7,579	7,073	4,556	13,116	47,891

H24	714	2,792	2,175	2,294	2,795	4,493	7,376	6,421	4,403	12,180	45,643
-----	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------

(3)利用状況

・入館者数

館名	入館者数(単位:人)				
	H28	H27	H26	H25	H24
取手図書館	159,144	171,288	172,237	171,750	179,498
ふじしろ図書館	179,787	192,766	192,403	195,856	202,396
合計	338,931	364,054	364,640	367,606	381,894

・館別貸出者数

館名	貸出者数(単位:人)				
	H28	H27	H26	H25	H24
取手図書館	78,628	83,757	83,777	83,358	85,525
ふじしろ図書館	80,870	85,640	87,990	87,637	89,939
戸頭公民館図書室	38,081	38,872	39,413	41,226	44,119
小文間公民館図書室	295	272	327	274	304
寺原公民館図書室	4,406	4,390	4,265	4,119	3,609
永山公民館図書室	917	862	686	566	741
ゆうあいプラザ図書室	3,310	3,138	3,002	3,202	3,217
井野公民館	1,926	2,051	1,940	1,779	1,778
取手駅前窓口	4,968	5,173	4,898	4,485	3,852
山王公民館	98	99	126	144	154
六郷公民館	466	625	652	652	608
相馬南公民館	503	478	553	443	479
久賀公民館	0	0	0	4	6
合計	214,468	225,357	227,629	227,889	234,331

・貸出冊数(個人・団体)

館名	貸出冊数(単位:冊)				
	H28	H27	H26	H25	H24
取手図書館	239,826	251,604	258,776	260,781	273,067
ふじしろ図書館	242,875	254,961	262,406	264,307	277,829
戸頭公民館図書室	103,153	104,196	106,913	116,045	127,311
小文間公民館図書室	528	565	765	730	638
寺原公民館図書室	8,727	8,894	8,862	8,175	7,280
永山公民館図書室	2,149	1,901	1,338	1,156	1,655
ゆうあいプラザ図書室	7,547	7,106	7,271	7,884	7,942
井野公民館	3,612	3,865	3,757	3,431	3,396
取手駅前窓口	8,711	9,508	8,754	8,135	6,695
山王公民館	146	136	167	231	230
六郷公民館	778	1,058	1,089	1,174	1,104
相馬南公民館	758	719	905	706	778
久賀公民館	0	0	0	7	8
合計	618,810	644,513	661,003	672,762	707,933

・予約(リクエスト)月別利用状況

月別	予約(リクエスト)件数(件)				
	H28	H27	H26	H25	H24
4月	8,983	8,682	9,648	9,487	9,288
5月	8,476	8,653	9,086	9,080	8,885
6月	8,458	8,566	8,708	9,178	8,683
7月	9,936	10,015	9,462	9,781	9,357
8月	9,294	9,387	10,228	9,675	9,188
9月	9,020	8,785	9,253	9,629	9,691
10月	8,977	9,557	9,583	9,541	9,451
11月	8,853	9,152	9,105	8,917	8,834
12月	7,442	9,018	8,389	8,771	8,788
1月	9,219	9,174	9,163	9,341	9,034
2月	8,854	9,078	8,674	8,495	9,370
3月	8,941	9,542	9,186	8,575	9,692
合計	106,453	109,609	110,485	110,470	110,261

○ 効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような行事を行った。また、ブックスタート事業を引き続き実施するなど、子どもの読書活動推進のための事業に力を入れた。

[担当：図書館] P. 409

2201 図書館資料購入に要する経費 33,719,800円 (30,464,999円)

[その他 598,067円 一財 33,121,733円]

\* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 500,000円]

[諸収入：図書弁償金 71,067円]

[諸収入：広告掲載料 27,000円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・H28年度館別購入数

館名	図書		雑誌	
	購入冊数	購入金額	購入種類	購入金額
取手図書館	5,249	11,529,117	77誌	699,950
ふじしろ図書館	5,420	10,359,528	90誌	893,560
戸頭公民館図書室	2,225	3,768,604	30誌	295,545
計	12,894	25,657,249	197誌	1,889,055
館名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額	購入件数	購入金額
取手図書館	15紙	373,680	105点	135,818
ふじしろ図書館	18紙	531,260	171点	928,694



戸頭公民館図書室	10紙	275,556	17点	55,404
計	43紙	1,180,496	293点	1,119,916

※新聞の購入種類について、同銘柄も夕刊は1紙とした

・館別蔵書数（各年度末日現在）

館名	図書(単位:冊)				
	H28	H27	H26	H25	H24
取手図書館	135,601	134,617	131,555	132,611	131,109
ふじしろ図書館	137,735	133,998	125,903	129,117	126,883
戸頭公民館図書室	56,546	56,236	55,718	56,704	56,909
小文間公民館図書室	2,365	2,338	2,578	2,521	2,668
寺原公民館図書室	4,518	4,760	5,006	4,967	4,604
永山公民館図書室	4,614	4,537	5,002	5,434	5,291
ゆうあいプラザ図書室	9,854	9,552	8,559	12,223	11,918
合計	351,233	346,038	334,321	343,577	339,382

館名	雑誌(単位:タイトル数)				
	H28	H27	H26	H25	H24
取手図書館	77	94	93	101	93
ふじしろ図書館	90	97	96	112	96
戸頭公民館図書室	30	32	32	31	33

館名	AV(単位:件)				
	H28	H27	H26	H25	H24
取手図書館	325	299	270	199	149
ふじしろ図書館	5,108	4,918	4,753	4,578	4,404
戸頭公民館図書室	78	61	0	0	0
合計	5,511	5,278	5,023	4,777	4,553

○ 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

## 5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課] P. 409

2001 文化財保護に要する経費 968,234 円 (2,193,544 円)

[その他 215 円 一財 968,019 円]

\* 特財内訳

[諸収入：市史・郷土史郵送料本人負担分 215 円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料となるので、文化財保護法や県・市条例によって文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用に努め、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 (885,000 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して

補助金を交付した。

(単位:円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8	【 】は補助率
国	竜禅寺 三仏堂	10,000	62,000	【7/8】 71,000 [維持管理(防災設備修繕)]
県	本多作左衛門重次墳墓(本願寺)	10,000		
	大日山古墳(岡神社)	10,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	10,000		
	長禅寺 三世堂	10,000	31,000	
	東漸寺 山門・観音堂	10,000	37,000	【定額】 10,000 文化財防火デー
市	八坂神社 本殿・拝殿	10,000	51,000	【7/8】 303,000 [維持管理(防災設備修繕)]
	白山神社 本殿	10,000	37,000	【7/8】 89,000 [維持管理(防災設備修繕)]
	中妻貝塚(福永寺)	10,000		【1/2】 84,000 [維持管理(草刈)]
	阿弥陀如来坐像(金仙寺)	10,000		
	絹本金箔地刺繍釈迦涅槃図(信楽寺)	10,000		

(千円未満切り捨て)

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に合わせ、県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

・旧取手宿本陣(10月28日～11月6日)

公開日	内容	来場者	備考
10/28～11/6	連続公開	750人	11/4～6には、本陣ご子孫宅に伝わる水戸藩主徳川斉昭直筆掛け軸の特別公開を行った。
11/5	市民大学特別講座(会場本陣主屋)	59人	「関東九間民家と古河公方」講師:中尾七重先生(工学博士、武蔵大学総合研究所研究員)

・長禅寺三世堂(11月4日～11月6日)

公開日	内容	来場者	備考
11/4～11/6	内部特別公開	577人	

○ 効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することで、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、文化財特別公開の機会を設

けることで、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

[担当：教育総務課] P.411

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 7,222,093 円 (7,956,918 円)

[その他 240,000 円 一財 6,982,093 円]

\* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000 円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	来場者	平均	内容
H28	週3日 (金・土・日)	163日	7,881人	48.3人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行った。
H27	週3日 (金・土・日)	163日	7,969人	48.9人	同上

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する主な経費

内 訳	支 出 額
公開日受付業務委託料	1,662,276 円

・維持管理に関する主な経費

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	3,386,082 円
日常管理委託料	492,480 円
庭園維持管理委託料	788,400 円
機械警備委託料	90,720 円
消防用設備保守点検委託料	171,720 円
主屋西雨受け修繕料	129,600 円

○ 効果

旧取手宿本陣の公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めている。また、本陣見学者の約6割が市外からの訪問者であり、市の観光資源として活用されている。平成28年度は、27年度に引き続き、取手ひなまつりのイベント会場利用や、取手ひなまつりに合わせたJRの「駅からハイキング」期間中10日間の連続開館を実施し、取手市の郷土史や文化財についての理解を深めてもらうことができた。

[担当：教育総務課] P.413

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 1,427,313 円 (1,662,525 円)

[その他 29,600 円 一財 1,397,713 円]

\* 特財内訳

[諸収入：郷土史売却代 29,600 円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

市内遺跡確認・緊急調査の概要

確認調査(試掘)や個人住宅の発掘調査を、市が実施した。

遺跡名・事由・面積	期 間	内 容
南中原遺跡 (井野台一丁目 2682-5 ほか) 宅地造成・753.22 m <sup>2</sup>	4/25～27	遺構、遺物なし
米ノ井地内(米ノ井401番1) 集合住宅・400 m <sup>2</sup>	9/6, 9, 14	遺構、遺物なし (新屋敷遺跡・後原遺跡に近接。地表に土器片の散布が確認されたため確認調査実施)
堀尻遺跡(野々井43番1ほか) 宅地造成・1466 m <sup>2</sup>	10/3, 4	遺構、遺物なし
佃遺跡(寺田4826番2ほか) 宅地造成・389.94 m <sup>2</sup>	10/12, 13	遺構、遺物なし
台宿貝塚 (台宿二丁目412番地) 倉庫兼事務所・974 m <sup>2</sup>	11/7～14, 12/6～H29/1/27	縄文時代中期遺物包含層, 平安時代住居跡3棟, 溝1条(時代不明) 縄文土器, 平安時代の土器(須恵器, 土師器)等

【主な経費】

- ・市内遺跡確認調査発掘作業委託料 1,120,864円
- ・機器使用料(バックホウ使用料) 137,160円

○ 効果

平成28年度は、4遺跡5件の確認・発掘調査で、縄文時代から平安時代までの遺跡を調査し、縄文土器などの貴重な資料が出土した。これらの調査により、重要な市内遺跡の破壊を防ぎ、貴重な資料を得ることができた。

[担当：教育総務課] P.413

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 739,109円 (729,977円)

[一財 739,109円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料を収納するとともに、その整理・研究成果を市民に紹介するため、企画展示・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心や、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1)年間来館者数

年 度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
来館者数	5,601人	5,366人	6,033人

(2) 展示活動

展示名	期間	来館者数 (1日平均)	経費	内 容
第 39 回企画展「装身具の魅力ー華麗な出土装身具ー」	H28/2/16 ～4/22 開館 61 日 内 4/1 日から 20 日	2,026 人 (33.2 人) 4/1 から 502 人 (25.1 人)	報償費、印刷製本費は平成 27 年度予算で対応(4/1 以降は支出なし)	市内から出土した考古資料の中から、装身具を紹介し、原始古代の文化や生活を読み解いた。
第 40 回企画展「西国巡礼・四国遍路・金毘羅参り」	7/19 ～9/23 開館 58 日	1,379 人 (23.8 人)	報償費 30,000 円 印刷製本費 326,160 円 (ポスター、解説図録)	江戸時代に取手の人が赴いた西国巡礼・四国遍路・金毘羅参りの道中を、様々な資料から追体験した。 8/27 説教節の上演と解説「小栗判官」参加者 121 人 講師: 三代目若松若太夫氏(東京都指定無形文化財保持者) 歴史講座 1(7/30)参加者 119 人 歴史講座 2(9/17)参加者 104 人
第 41 回企画展「貝塚を読み解くー中妻人の豊かな食卓ー」	H29/2/15 ～4/23 開館 61 日 内 H29/3/31 まで 41 日	2,334 人 (38.3 人) H29/3/31 まで 1,933 人 (47.1 人)	印刷製本費 326,160 円 (ポスター、解説図録)	H4 に中妻貝塚で発見された多数合葬墓から出土した骨の分析から判明した、縄文時代の人々の食生活の傾向を紹介した。 H29/3/11 講演会「古鬼怒湾における縄文後晩期の魚貝類利用」参加者 112 人 講師: 吉野健一氏(千葉県教育庁文化財課主査) 考古学講座(H29/3/25)参加者 64 人

○ 効果

平成 28 年度の来館者数は 5,601 人となり、センターの存在と活動が着実に市民に浸透し理解されてきたといえる。こうした活動により、市民の歴史への関心が深まり、文化財を大切にしたい気持ちや文化財保護行政に対する理解を得ることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当: スポーツ生涯学習課] P. 417

1001 スポーツ推進委員に要する経費 1,240,460 円 (1,268,080 円)

[一財 1,240,460 円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力に努めた。

スポーツ推進委員報酬 日額 6,300 円×延べ 167 人=1,052,100 円

○ 効果

スポーツ推進委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 417

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,337,000円(9,265,000円)

[一財 9,337,000円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	31部	5,743人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修 各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催 行事への協力及び参加、競技別大会の企画 運営、指導者の育成
スポーツ少年団	9連盟 35単位団	指導者 301人 団員 1,087人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室 の企画運営、認定員養成講習会、取手ブ ロック近隣市町村交流会、市主催行事への協 力及び参加、各種講習・研修会への参加

○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 419

2002 社会体育振興関係経費 1,160,514円(918,685円)

[一財 1,160,514円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第21回 小学生ドッジボール大会	215人	取手グリーンスポーツセンター
第13回 市民親睦ソフトボール大会	186人	取手緑地運動公園
第25回 ソフトバレーボール大会	224人	取手グリーンスポーツセンター
第17回 グラウンドゴルフ大会	185人	北浦川緑地
第45回 新春健康マラソン大会	1,977人	取手緑地運動公園
第24回 ふれあいウォーキング	88人	取手グリーンスポーツセンター
第11回 市民ペタンク大会	99人	桜が丘小学校

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 419

2003 スポーツ振興奨励関係経費 2,615,000円(2,411,000円)

[一財 2,615,000円]

○ 目的

スポーツ大会出場奨励金を交付することにより、市民スポーツの高揚並びに競技意欲の向上を図る。また、選手も上位大会を目指すことができ、ひいては日本代表や国体選手の育成に繋がることを目的とする。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

年度		関東大会	全国大会	国際大会
H28	団体	6件	12件	1件
	個人	7件	41件	1件
H27	団体	4件	13件	0件
	個人	7件	40件	1件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 419

2101 学校施設開放に要する経費 523,054円(539,272円)

[一財 523,054円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツ・レクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	登録人数	開放学校数
H28	254団体	6,093人	25校
H27	252団体	5,839人	25校

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 419

2301 いきいき茨城ゆめ国体 2019 開催に要する経費 671,480円

[一財 671,480円]

○ 目的

第74回国民体育大会茨城大会では、自転車(トラック)、ボウリングが正式競技として取手市で開催されるので、会場地としての気運を盛り上げ、万全の体制で開催できるように準備を行う。

○ 内容

第74回国民体育大会茨城大会の会場地として、正式競技の自転車(トラック)、ボ

ウリング、公開競技の武術太極拳、デモンストレーションスポーツのエアロビック、ダンススポーツの実施を予定している。効率的な開催準備を推進するための組織づくり、関係機関との緊密な連携をした。本大会等の先催県への視察を行った。

○ 効果

国体会場の効率的な開催準備を行うため取手市実行委員会組織を立ち上げ、広報PR活動を行い国体開催の機運醸成に繋がった。

**6 保健体育費 2 体育施設費**

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 421

**2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 142,343,711 円**  
(139,537,715 円)

[地方債 10,900,000 円 その他 11,694,632 円 一財 119,749,079 円]

\* 特財内訳

[市債：グリーンスポーツセンター整備事業債 14,536,800 円×75%≒10,900,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,636,000 円]

[諸収入：グリーンスポーツセンター利益還元金 8,058,632 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

指定管理料 125,115,000 円

利用状況

(単位：人)

施設名	H28	H27	増減
室内プール	129,360	123,837	5,523
遊水プール	14,983	16,558	△1,575
第一体育室	62,668	63,870	△1,202
第二体育室	11,401	11,609	△208
トレーニング室	62,296	58,803	3,493
柔道場	14,648	15,075	△427
剣道場	9,004	9,938	△934
弓道場	13,783	11,748	2,035
健康相談室	64	35	29
スポーツ障害相談室	212	285	△73
研修室	14,234	13,758	476
会議室	726	786	△60
和室	1,176	1,436	△260
その他	15,751	16,086	△335
合計	350,306	343,824	6,482

○ 効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。



[担当：スポーツ生涯学習課] P. 421

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 80,847,115 円 (43,225,395 円)

[地方債 22,700,000 円 その他 25,415,616 円 一財 32,731,499 円]

\* 特財内訳

[市債：藤代スポーツセンター整備事業債 30,358,800 円×75%≒22,700,000 円]

[使用料：藤代スポーツセンター使用料 6,707,610 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 17,258,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,400,000 円]

[諸収入：コピー手数料 4,530 円]

[諸収入：印刷機使用料 45,476 円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、また憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1) 利用状況

施設名	H28	H27	増減
アリーナ	35,651 人	34,971 人	680 人
レクリエーション室	5,333 人	4,798 人	535 人
多目的グラウンド	7,688 人	7,932 人	△244 人
野球場	8,904 人	9,083 人	△179 人
テニスコート	9,691 人	10,470 人	△779 人
会議室	840 人	1,061 人	△221 人
合計	68,107 人	68,315 人	△208 人

(2) 工事一覧

内容	契約金額	契約期間	概要
テニスコート改修工事	27,982,800 円	H28/7/16～ 9/29	テニスコート 4 面の全面張替 (2,427.3 ㎡)
テニスコート付帯施設改修工事	2,376,000 円	H28/7/14～ 9/29	ベンチ改修 4 箇所 シェルター設置 4 箇所 ネットフェンス張替 48m
体育館 C 系統空調設備改修工事	5,238,000 円	H28/6/24～ 8/31	新規空調機器設置 (室内機 4 台, 室外機 1 台) 既存空調機器撤去処分 (室内機 4 台, 室外機 1 台)
体育館非常用放送設備改修工事	1,188,000 円	H28/9/1～ 10/31	非常用放送設備の交換
体育館監視カメラ装置改修工事	1,177,200 円	H28/9/1～ 10/31	監視カメラ装置の交換
高圧ケーブル改修工事	1,237,680 円	H28/7/1～ 11/30	既存高圧ケーブルの引き替え 1 号柱 (空中 PAS) ～屋外キュービクル 屋外キュービクル～体育館電気室内キュービクル

体育館給湯設備改修工事	3,337,200円	H28/12/3～ H29/2/28	新規給湯設備設置 既設給湯設備撤去処分
-------------	------------	-----------------------	------------------------

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 423

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 5,147,821円 (5,638,427円)

[その他 2,446,700円 一財 2,701,121円]

\* 特財内訳

[使用料：藤代武道場使用料 1,695,700円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 751,000円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、武道場(柔道場・剣道場・弓道場)の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1) 利用状況

施設名	H28	H27	増減
柔道場	10,014人	10,632人	△618人
剣道場	9,557人	10,725人	△1,168人
弓道場	811人	977人	△166人
師範室	882人	497人	385人
合計	21,264人	22,831人	△1,567人

(2) 修繕一覧

内容	契約金額	契約期間	概要
藤代武道場(柔道場)照明器具(LED)交換修繕	626,400円	H28/4/23～ 9/30	照明器具 LED ベースライト 110タイプ 24台 照明器具 LED ベースライト 40タイプ 2台
藤代武道場(弓道場)照明器具(LED)交換修繕	125,064円	H28/4/23～ 9/30	照明器具 LED ベースライト 直付型 2台 照明器具 LED ベースライト 直付防湿防雨型 2台

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2401 社会体育施設管理に要する経費 1,730,252円 (2,415,889円)

[その他 169,600円 一財 1,560,652円]

\* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 169,600円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

利用状況

高須体育館	H28	H27	増 減
利用人数	8,808 人	10,787 人	△1,979 人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

## 6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P. 427

2001 給食センター運営に要する経費 136,067,297 円 (137,861,869 円)

[その他 124,856,608 円 一財 11,210,689 円]

\* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 2,839,143 円]

[諸収入：小学校給食代（センター分） 79,679,943 円]

[諸収入：中学校給食代（センター分） 42,337,522 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主に、子どもたちに安全な食材による給食を提供するための経費である。

賄材料費 127,162,251 円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 429

2101 給食センター施設整備に要する経費 65,540,714 円 (60,737,513 円)

[その他 31,700,000 円 一財 33,840,714 円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 31,700,000 円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,382,070
修繕料	調理器具等修繕料	2,115,198

(2) 委託料

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	12,046,320
電気保安業務委託料	電気設備の安全管理	151,632
受水槽清掃委託料	受水槽の清掃	102,600

真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	302,400
ガス空調機保守点検委託料	ガス空調機保守点検	507,600
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	2,170,800
ボイラー運転・管理委託料	一級ボイラー技士による運転管理	5,184,000
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃・ボイラー排ガス測定	853,200
冷凍・冷蔵設備保守点検委託料	冷凍・冷蔵設備の点検	129,600
高窓・排気ダクト清掃委託料	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	183,600
警備委託料	施設警備	172,368
害虫駆除委託料	害虫の駆除	86,400

(3) 工事請負費 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
給食センター配送室改修工事	ドア及び外階段の改修	1,846,800

(4) 備品購入 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
熱風消毒保管庫	洗浄した食器類を熱風により乾燥・消毒を行い、衛生的に保管する。9台購入	32,184,000

○ 効果

安全な給食を提供するため、施設整備・衛生管理等の充実を図ることができた。